

平成 30 年度 バリアフリー調査と連携した
データ作成・利活用に関する実証

応 募 申 請 書

平成 年 月 日

国土交通省総合政策局総務課長 殿

(フリガナ)

団 体 名

印

代 表 者 所 属 ・ 役 職

(フリガナ)

氏 名

印

所 在 地

電 話

平成 30 年度バリアフリー調査と連携したデータ作成・利活用に関する実証の実施箇所募集要領に基づき、提案書を添付の上、応募申請書を提出します。

連絡窓口	〔住所〕 〒 〔連絡担当者〕 所属・役職 (フリガナ) 氏 名 〔電話番号〕 〔メールアドレス〕
------	--

※赤字は記載にあたっての留意点、青字は記載例です。応募申請書提出時には消してください。

(1) 応募者等	
団体名称 (市区町村名又は地域の社会福祉協議会名を記載。)	〇〇市または、△△協議会
関係機関・部署 (協議会で応募申請する場合、予定している全ての団体について記載。)	
機関名 (協議会で応募申請する場合、協議会の参加機関を明記。)	所属・役職
〇〇市 〇〇協議会 〇〇福祉会 …	市長又は〇〇部長 ※協議会事務局 会長 会長 …

(2) バリアフリーに関する取組の状況
<p>(バリアフリーに関する取組概要、バリアフリー調査の実施状況、バリアフリー調査結果を用いたバリアフリーマップの作成状況、バリアフリー調査結果の活用状況を記載。)</p> <p>*具体的な取組がなく、2018年度よりバリアフリーに関する取組を実施する場合、各項目に計画内容を記載。</p> <p>【バリアフリーに関する取組概要】 (実証を提案する実施主体において実施しているバリアフリーに関する計画やプロジェクト、その中で実施していること等の概要を記載。今後計画している内容も含めて記載。)</p> <p>【バリアフリー調査の実施状況】 (応募団体がこれまで実施しているバリアフリー調査の背景・目的、実施体制、調査内容、調査内容の決め方、調査方法、実施頻度を具体的に記載。)</p> <p>【バリアフリーマップの作成状況】 (バリアフリー調査の結果を用いたバリアフリーマップの作成状況として、作成範囲、作成方法、掲載情報、整備日、更新頻度を具体的に記載。)</p> <p>【バリアフリー調査結果の活用状況】 (バリアフリーマップ以外でのバリアフリー調査結果の活用方法を記載。)</p>

※赤字は記載にあたっての留意点、青字は記載例です。応募申請書提出時には消してください。

(イ) バリアフリー調査及びデータ整備を行う対象エリアとその考え方 (バリアフリー調査及び歩行空間ネットワークデータと施設データの整備を実施する対象エリア、エリア選定の考え方を記載。)

対象エリア

〇〇県〇〇市〇〇地区 (対象面積 約〇〇km²)

【対象エリア選定の考え方】

(対象エリアを選定した理由を記載。また、基本構想を策定されている場合はその旨を記載)

【対象エリア】

(地図上にバリアフリー調査範囲を記載。)



(5) データの活用方法

(実証で実施するバリアフリー調査で収集した情報や、収集情報等を用いて作成する歩行空間ネットワークデータや施設データの活用方法を記載。例えば、バリアフリーマップの作成、バリアフリー情報を閲覧できる地図サイトでの利用、道路の管理、観光等への活用、その他、計画立案・政策決定に向けたデータ集計等への活用等。住民サービスだけでなく、行政事務の効率化等の視点でも記載。)

※赤字は記載にあたっての留意点、青字は記載例です。応募申請書提出時には消してください。

(6) データのメンテナンス

(実証で整備するデータの更新頻度や更新を実施する主体、更新方法等を現時点で想定する内容を具体的に記載。)

(7) オープンデータに関する取組状況

(市区町村におけるオープンデータ化の状況、今後のオープンデータに関する取組の予定を記載。)

【オープンデータ化の状況】

(市区町村における現状のオープンデータに関する取組みの検討状況や取組状況を具体的に記載。)

【今後のオープンデータに関する取組の予定】

(オープンデータに関する取組の今後の進め方について、計画・検討していることを記載。)